

再現!

王朝文化体感プログラム
特別展

再現! 姫君の空間

「王朝の華やぎと輝きの世界へ」

Living History

2021 7/10 SAT ~ 9/5 SUN

[観覧料] 無料(常設展の観覧には別途観覧料が必要です)

[開館時間] 9:30 ~ 17:00 (入館は16:30まで)

[休館日] 月曜日(ただし、8月9日は開館、10日は休館)

会場 齋宮歴史博物館 特別展示室

再現!

姫君の空間

— 王朝の華やぎと輝きの世界へ —

平安時代中期は貴族の美意識が高揚した時期です。この時代の美術や工芸は華麗で繊細であり、その特徴は「善美を尽くす」と評されます。この時代の姫君や女房たちの装束に目を向けると、記録からは衣を組み合わせたかさねの色目で季節感を表し、身分や年齢に応じて儀式の空間を際立たせていた様子がたどれます。日常の場も含め、姫君や女房たちの装束は王朝文化を語る上で大きな役割を担っています。

この特別展は、往時を再現した展示等を通じて生きた歴史の体感・文化財の理解を促進する文化庁のリビングヒストリー促進事業「王朝文化体感プログラム」の一環として開催するものです。王朝美に根ざした平安時代中期の女房装束を取りあげ、装束と空間演出の再現展示を通して、王朝文化を体感していただく機会を創出しようとするものです。

平安時代中期の装束は実物が遺っていないため、日記や有職故実書などの文献をはじめ、物語や和歌、絵画を手がかりに装束を復元し、袖や裾を御簾(みす)の下から覗かせる打出(うちいで)の再現により、姫君が住まう空間とその場の様子をイメージしていただくことを目指しました。打出は装束の美しさや麗しさを見せる方法であり、アイデンティティのほめかしとも言い換えられます。装束への興味と理解を促すために、関連する絵画や故実書なども併せて展示いたします。

場を華やかに彩る打出の効果や意義に触れていただき、姫君や女房たちの姿と美意識を体感していただきたいと思います。



復元装束のイメージ (作図 笹川智美)

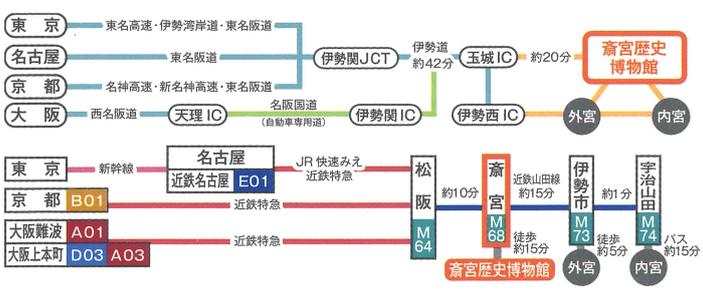
主な展示品

- ・ 復元装束による打出の再現
- ・ 「扇面法華経」模写本 1巻 昭和時代 (京都市立芸術大学芸術資料館蔵)
- ・ 「類聚雑要抄函巻」1巻 江戸時代後期 (斎宮歴史博物館蔵)
- ・ 「源氏物語須磨巻」1巻 住吉廣行筆 江戸時代後期 (斎宮歴史博物館蔵) 他



絵巻にみる打出の様子

重要文化財「駒籠行幸絵巻」より 所蔵及び画像提供：和泉市久保惣記念美術館 ※本展覧会には出展されません。



会 齋宮歴史博物館 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
場 SAIKU HISTORICAL MUSEUM Tel. 0596-52-3800

- お問い合わせ -
王朝文化体感プログラム協議会事務局 (一般財団法人民族衣裳文化普及協会内)
 Tel. 0120-029-315
<https://otyo-bunka.jp/>

※会期中、一部出品物の展示替えがあります。
※新型コロナウイルス感染症の拡大等により、予告なく事業を中止・変更する場合があります。また会場が休館となる場合があります。

◎A01などは、近鉄線内の駅番号です。◎京都からは一部の列車を除き大和八木駅(B39・D39)で乗り換えます。◎近鉄の観光特急「しまかせ」号は、松阪駅には停車しません。